

3. 大阪国道事務所の業務内容

国道165号香芝柏原改良は、奈良県・大阪府県境区間の交通混雑の緩和、線形改良による交通事故の低減、異常気象時通行規制区間の解消により、安全かつ円滑な交通の確保等を目的とする道路です。令和7年度は、用地調査、道路設計、埋蔵文化財調査および用地取得を推進します。

位置図

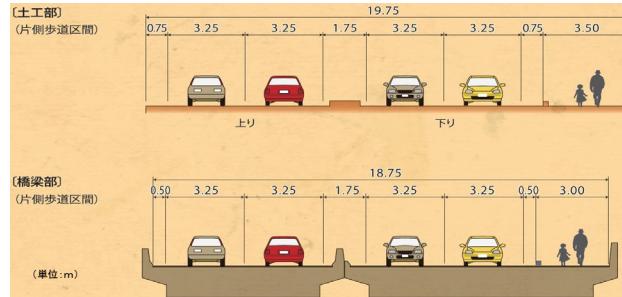
大阪府



整備効果

- ① 4車線に拡幅することにより、渋滞を大幅に緩和し交通の円滑化を図ります。
- ② 急カーブをなくし自転車歩行者道を設置することにより、安全性の向上が期待されます。
- ③ 異常気象時通行規制区間の回避を図り、災害時でも安全かつ円滑な交通を確保します。

中和幹線の開通による交通量の増加



4車線化により混雑緩和



計画諸元

香芝柏原改良

路線名	一般国道165号
区間(起点)	奈良県香芝市穴虫
区間(終点)	大阪府柏原市田辺
道路規格	第3種第2級
延長	2.8km
標準幅員	19.75~25.25m
設計速度	60km/h
車線数	4車線

事業の経緯

年度	主な内容
昭和37年	都市計画決定〔大阪府側〕
昭和48年	都市計画決定〔奈良県側〕
平成4年	都市計画変更(府県境区間の追加指定)〔大阪府側〕
平成5年	都市計画変更(府県境付近の変更)〔奈良県側〕
平成17年	PI(アンケート調査)の実施
平成22年	都市計画変更(一部区間の線形の変更)
平成23年	事業化
平成25年	用地買収着手

